

楽しいんやさかい 大和川水辺の楽校

遊び、自然体験、自然学習の場として水辺を利用することで、子どもたちの自然体験や生活体験の不足を補うことを目的とする、国土交通省のプロジェクトの一つです。



水辺の楽校の様子

活動の概要

| | |
|-------------|--|
| 目的 | 河川の水辺を利用して、子どもたちの自然体験や生活体験、環境学習の場をつくり、その成長を支援する |
| 連携メンバーおよび役割 | 大和川水辺の楽校協議会…企画・運営 大和川線沿線連絡協議会（三宝／錦西／錦綾／浅香山／東浅香山／新浅香山／五箇荘東の7校区）…企画・運営 国土交通省近畿地方整備局大和川河川事務所堺出張所…企画・運営・施設貸与 堺市教育委員会学校教育部学校企画課…企画・運営・参加者募集 堺市建設局土木部河川水路課…事務局 関西大学人間健康学部 安田忠典ゼミ、村川治彦ゼミ、灘英世ゼミ…企画・運営・学生ボランティア派遣 ほか |
| 活動地域 | 大和川（大阪府堺市） |
| 活動期間 | 通年（2016年度は5月5日水辺の楽校祭り開催、17年1月21日阪神高速大和川線開通記念イベントに出展） |
| 費用 | 各種補助金／学内における各種資金 |

連携の経緯

国交省が推進するプログラムとして2007年にスタートした「大和川水辺の楽校」は、2010年に開設された関西大学堺キャンパスから至近の大和川河川公園を会場に展開していた。そこで関西大学は地域への貢献活動として、開設年度から運営委員、学生ボランティアを派遣し、会議場所の提供等も含めて全面的に参画。一昨年からは浅香山浄水場近辺のつつじ祭りとジョイントして独自のプログラムを推進している。

解決すべき課題

- (1) 独自のプログラム作成
- (2) 運営基盤（事務局、物品、会議場所等）の整備
- (3) プログラム参加者の発掘
- (4) 広報体制の強化
- (5) 地域との連携強化

大学の役割

水辺の楽校協議会の運営委員を務め、企画・運営に携わる。

堺キャンパスのボランティアネットワークに登録した学生がキャンパス至近の大和川公園にて開催される「水辺の楽校祭り」に参加。また、安田ゼミの学生が協議会にオブザーバー参加し、学生が企画・運営する講習会や「水辺の楽校祭り」のコンテンツを提供している。

成果

- (1) 「水辺の楽校」の継続、発展
- (2) 安定した運営の基盤形成
2017年1月、大和川水辺の楽校協議会が国土交通省近畿地方整備局より「河川協力団体」の指定を受ける。
- (3) 地域住民の運営による関係機関間の連帯感醸成
- (4) 子どもたちやボランティア学生の学び
- (5) 5月の水辺の楽校祭りが1000名超と大盛況

今後の展望

- (1) プログラムをさらに洗練していく
- (2) 市民、とくに地域住民へのさらなる定着
- (3) 大学としての参加をさらにアピール
- (4) 学生の参加をさらに促進する
- (5) 成果も含めた広報の強化
- (6) 地域住民による自主的運営基盤の安定化をさらなるものにし、画期的な地域活動に成長してきた成果を各方面に発表、周知していく。

研究者の紹介



人間健康学部 准教授
安田 忠典
(やすだ ただのり)

人間健康学部では、レクリエーション、ファシリテーション等のトレーニングをしている明るくユーモアあふれる学生たちが、実際の経験の場を求めています。そんな若い力を求めている現場とコラボできます！

学校型 水辺の楽校

開催場所 大和川水辺の楽校 自然学習ゾーン

体験学習スケジュール

大和川河川事務所堺出張所内防災センターにて開校式
川での安全講習・ライフジャケットの着用方法指導
バックテストによる水質検査体験・川での魚とり体験
捕れた魚等の観察と学習



大和川水辺の楽校協議会
E-mail info@sakai-mizube.org
ホームページ http://sakai-mizube.org

水辺の楽校リーフレット

現場の声

・参加学生

「水辺の楽校まつり」などの行事に参加するなかで、地域の方々の温かさや、子どもたちの元気や素直さなど、私たちはいつも素敵なお褒めをいただいています。まるで家族が集まったようなひと時を過ごせるのです。スタッフの会議にも出させてはいただいているが、みなさん、この活動からさまざまな喜びや楽しさを見出しておられ、ボランティアの本来のかたちを学んでいるような気がしています。